

1. 英国の概要

EU 及び EEA への加盟	1973 年
人口(2008 年)	61,185,981
一人当たりの GDP および PPP(2006 年)	29,052 ユーロ
通貨	英ポンド 1.25 ユーロ = 1 ポンド(2008)
言語	英語(ウェールズ語、ゲール語)
歯科医師数	35,873 人
歯科医師一人あたりの人口	1,974 人
英国歯科医師会加入割合	60%

NHS (National Health Service) は税金を主な財源とし、すべての人々に対して医療サービスを提供している。NHS の財源の約 80% は税金でまかなわれているが、薬剤の処方、歯科治療、眼鏡などの眼科ケアに対しては患者に一定の自己負担金が課せられる。歯科のプライマリーケアの約 40% は、州の NHS システムで支払われているが、他は患者の一部負担金や全額自己負担(私費診療)となっている。

多くの専門医があり、歯科医療補助職に関する制度は発達しており、臨床への従事の有無に関わらず、すべての歯科医師と歯科医療補助職に生涯研修が義務付けられている。

2. 医療制度の概要

グレートブリテン及び北アイルランド連合王国(英国)は、議会制民主主義および君主制の国である。立法において女王は象徴的な役割を果たし、議会は二院制である。公選制により選ばれた議員からなる下院(庶民院)は主に法案の最終的な決議を行う。上院(貴族院)は全議員が爵位を持つ貴族によって構成され、下院に再考を促す役割を担っている。英国には歴史的に労働党、保守党、自由民主党の三政党がある。英国の政治は首相と閣僚(大臣)によって行われる。首都はロンドンである。

英国は 1948 年より包括的な NHS を実施しており、それは税金を主な財源としており、全国民に対して医療サービスを提供している。現在では、NHS の約 95% は税金で運営されているが、薬剤の処方、歯科治療、眼鏡などの眼科ケアに対しては患者に一定の自己負担金が課せられる。

NHS の予算は議会(Parliament and Assemblies)で決定され、政策導入はイングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの 4 つの地域の保健省と、イングランドにおける地方自治体にある地方保健当局(PCT (Primary Care Trust))および他の 3 つの地域の地方保健当局によって行われる。

国レベルでの一般開業医への患者登録システムがあり、成人、子供ともに基本的な医療サービスは登録したかかりつけ医(GP)において無料で受けることができる。かかりつけ医は患者に治療を提供するだけでなく、必要な場合には、専門医や適切な医療機関(病院)に患者を紹介し、NHS の「守衛」としての役割も果たしている。

薬剤の処方、歯科治療、眼科ケアのサービスの財源に関しては徐々に変化しており、現在はサービスを受けるために一部自己負担金を支払う人々が多くなっている。実際、歯科治療に関しては、私費治療を受ける者が増加し、また、NHS で歯科治療を受ける場合も自己負担金が増加しているため、現在すべての歯科医療費のうち 60% が患者による自己負担金であり、残りの 40% が税金により支払われている(英国歯科医師会による推計 2007 年)。

現在のところ、民間医療保険の資金規模も入会している人の数も少ないが、医療サービスにおける民間医療保険

の割合は徐々に増加している。

		年	出典
総医療費の対 GDP 比 (%)	8.3%	2005	OECD
医療費の政府負担割合(公的資金)(%)	87.1%	2005	OECD

3. 歯科医療制度

1) 歯科医療サービス

英国の歯科医療は、3つの異なるサービスで提供されている（GDS、CDS、HDS）。他のヨーロッパ諸国と同様に、多くの歯科医療サービスは公務員ではない、病院ではなく個人歯科診療所を有する開業歯科医の下で提供されている。このような一般開業医（GDP）が NHS の患者を受け入れる場合は、その地域の保健当局で決められている General Dental Service(GDS)のもとで働くこととなる。GDS との契約による歯科医療サービスは、イングランドとウェールズ、スコットランドと北アイルランドで異なる。

(1) イングランドとウェールズ

イングランドとウェールズでは、患者はあらかじめ公式に歯科医に登録する必要はなく、基本的には来院した順に歯科治療を受けることができる。治療費の何割という支払い方法ではなく、受けた治療に応じて4種類に定められた額の治療費を患者は支払う。この治療費は毎年見直され、2007年では定期健診とスクリーニング、歯面清掃などの16.2ポンドから、クラウンブリッジなどのより複雑な治療の198ポンドと、患者の支払額が決められている。

(2) スコットランドと北アイルランド

基本的には GDP（開業医）への治療費の支払いは出来高払い制度であるが、人頭制も一部あり、報酬や直接の払い戻し制度もある。GDP に支払われる費用には、治療に使った材料の費用や診療報酬、診療手当、医療費の償還も含まれる。

スコットランドでは、36ヶ月の契約によって契約患者として継続治療あるいは一時的な治療を受けることができる。一時的な治療に関しては、治療項目に制限がある。

NHS を利用して歯科治療を受ける場合、NHS が決めた治療費用の80%を自己負担額として、歯科医に支払う。一回の歯科治療の支払い負担限度額が決められている(約550ユーロ：2008年)。

(3) 英国全体

NHS では、18歳以下の子供や妊産婦、福祉制度の補助（生活保護）を受けている者、19歳以下で全日制の教育を受けている者は、自己負担金なしに歯科治療を無料で受けることができる。在宅歯科治療や義歯の修理など、開業医による NHS の治療のうちいくつかの項目は全ての患者に対して無料で提供される。

通常、NHS による歯科治療費は、民間開業医での治療費の半分あるいは半分以下となっている。

英国の多くの地域で NHS による歯科治療を開業医で受けることは困難であり、4つの政府は「アクセスセンター」を開設して対応している。「アクセスセンター」には給与を支払われる GDP（開業医）や公衆衛生専門の歯科医師が配属されており、患者は NHS と同じ費用負担でさまざまな歯科治療を受けることができる。

基本的には誰もが GDP を受診することができる。しかし、多くの歯科医師は、NHS での歯科治療を希望

する全ての患者を受け入れてはいない。英国の歯科医師のほとんどは NHS の治療を行っており、私費診療患者のみを受け入れる歯科医師は数百名のみである。NHS と契約している歯科医師の多くは、できる限り NHS による治療を減らし、多くの私費診療を行おうとしている。

実際は成人の約 50%、0～18 歳の子供の 60%が、GDP に年に一度定期的に受診し、ケアを継続して受けている。

英国には、地域歯科医療サービス(Community Dental Service, CDS)もある。これは、スペシャルケアが必要な小児や成人、あるいは開業医の少ない地域など、何らかの事情で歯科医療へのアクセスに問題がある人々に対して、公務員の歯科医師が歯科医療を提供する医療機関である。ここでは歯科公衆衛生サービスを提供したり、疫学研究のためのデータ収集の支援なども行っている。

さらには、歯科医療は一般の大きな病院や歯科大学付属病院（医育機関）でも提供される。英国では専門医による歯科治療は主に病院で提供される（Hospital Dental Service, HDS）。専門医による治療は地域の開業医や地域歯科医療サービスの歯科医師からの紹介により行われる。近年、口腔外科などの専門の治療は、high street practice で、多く行われるようになってきた。なお、従来より矯正治療は一般開業医によって行われている。

病院で提供されるすべての歯科治療と地域歯科医療サービスで提供されるほとんどの歯科治療は無料である。

開業医(GDS)、地域歯科医療サービス(CDS)、公的歯科医療サービス(PDS)、病院歯科医療サービス(HDS)の4つのサービスは連携し、いずれも地域・地方レベルの保健当局と公的資金で運営管理されている。保健当局は契約に基づき、地域における歯科医療サービスの提供者に、サービス料金を支払っている。

このシステムで働く歯科医師に対する NHS による収入は、毎年の支払額の提言を行う The Doctors' and Dentists' Review Body (DDRB)の準独立委員会（quasi-independent）により決定される。しかし、政府は常にその提言に従うわけではない。新卒歯科医師は研修 GDP として働き、国の給与レベルで給与が払われる。

多くの患者は半年ごとに定期歯科健診を受診しているが、口腔保健状況が改善したことにより、現在では半年ごとに定期歯科受診をしている成人は、50%以下と考えられている。

		年	出典
総歯科医療費の対 GDP 比 (%)	0.60%	2004	Manual
歯科医療費の私費の割合(%)	50%	2008	BDA

2) 民間の歯科医療保険

英国では、歯科治療費のための民間の医療プランや医療保険に加入している者は 10%以下である。民間の歯科医療保険は、一般の医療保険とは別なもの、あるいは、それに追加するものとなっている。ほとんどの民間保険は個人仕様であり、個人が会社に対して直接保険料を支払い、その保険料を払った個人が保障される。最も大きなプラン（Denplan）は前払い制で、参加している歯科医師は人頭制（診療行為ごとに点数を加算する方式とは異なり、担当する患者数に応じて報酬を受取る方式）の報酬を得る。人頭制においては、患者に提供した医療内容に関わらず、担当する患者数に応じて報酬を受取るため、提供する歯科治療の量によっては経済的なリスクを負うことになる。ここ数年、多くの保険会社が歯科医療保険の市場に参入し始めている。民間歯科医療プランや保険は、それぞれの会社が様々な料金設定をしている。一般的に保険でカバーする料金はすべての会員に対して一

定の基準料金を設けているが、個別プランを希望する場合、口腔内の保健状況の良好な者しか会社は歯科医療費をカバーしない。

3) 歯科医療の質の評価

歯科医療の質をモニターする監督部署は、どのようなサービスが提供されているかにより機関が異なる。NHS から給料が支払われている開業医に対しては、国の基準と比較した治療状況の分析が行われている。国の基準限度を超えている場合、一人あるいは複数の患者の治療内容について、地域の Dental Reference Officer (DRO)が調査を行う。地域の保健当局は患者からの苦情を受けると DRO に調査するよう依頼する。また、DRO は GDS を行っている臨床開業医の治療を任意に抽出し、適切に行われているかを評価する。

NHS を行う歯科診療所はすべて不満・苦情への対応をしなくてはならない。どのような苦情も最初は歯科医師に対して訴えられる。もし、そこで歯科医療に対する不満が解決しなければ、地域の保健当局に伝えられることになる。スコットランドと北アイルランドでは、重大な苦情は NHS の規範委員会で扱われる。もし規則違反が見つければ、歯科医師は無料で再治療を行ったり、NHS への歯科医師の登録を抹消されたりする。イングランドとウェールズでは、歯科医師が十分な治療水準を満たさない場合は、NHS の名簿から抹消される。また、職業上の違法行為については歯科医療審議会 (General Dental Council : GDC) に問い合わせることもできる。その場合、GDC は歯科医師を問責し、診療を行う権利を剥奪することができる。保健当局や GDC に、異議申し立てを行う権利もできる。病院や地域医療サービスで行われる歯科治療に対しては、ヘルスサービス苦情制度がある。

NHS の規制外で行われる治療に対しては、2006 年に歯科医療苦情サービスが設立された。ここでは患者および歯科専門家に対して助言を行っており、GDC とは独立している機関である。

4) 口腔保健データ

		年	出典
12 歳児 DMFT	0.80	2005	CECDO
12 歳での DMFT がゼロの割合	62%	2005	OECD
65 歳以上で無歯顎者の割合	36%	2005	OECD

5) フロリデーション

英国では約 6,000,000 人が、フッ化物濃度 1ppm に適正に調整された水道水あるいはほぼ同等な濃度レベルの天然水の供給を受けている。すなわち、英国の総人口の 10 分の 1 がう蝕予防に効果のあるレベルにフッ化物濃度が調整された水を飲用していることになる。

いくつかの地域では、人々は準適正値である 0.3~0.7ppm のフッ化物濃度の天然水を飲用している。これはう蝕予防にある程度は効果があると考えられるが、適切なレベルには達していない。また、エセックス州、ウィルとシャー州、ノーフォーク州などの一部の地域では、天然に認められるフッ化物の量が場所や時間によって異なるため、正確なフッ化物濃度を測定することは非常に難しい。

英国の多くの地域において、プライマリーケア基金 (Primary Care Trust : PCT) や 地域当局 Boards は、歯科診療所に依頼してフッ化物配合歯磨剤を小児に対して無料で提供するようにしている。また、問題のある小児を対象にして、歯科医師に歯科治療の一環としてフッ化物バーニッシュを行うよう契約を結んでいる。

2008 年の政府の水道水フロリデーション支援への声明により、小児のう蝕が蔓延している地方では、フロリデーション供給施設について検討が行われることとなった。

4. 歯科医療従事者の養成と登録

1) 学部教育 (Undergraduate Training)

英国には歯科大学が 15 校あり、そのすべてが州立の大学である。スコットランドのアバディーンにある最も新しい大学は 2008 年 9 月に設立された。多くの歯科大学に入学するためには、高校における理系の教科で最低 3 つ以上のレベル A をとらなければならない。競争は厳しく、通常すべての教科で高い点数を取っていなければならない。イングランドの 2 校 (Preston と Plymouth) とスコットランドの 1 校 (Aberdeen) の 3 校は、学士入学 (生化学系の大学卒業生) のみを受入れている。Liverpool と King's College London にも学士入学のプログラムがある。

スコットランド以外の地域の学生は、授業料をすべて支払わなくてはならない。しかし、州から低金利の融資を受けることができ、これは、大学卒業後に、収入が増加し最低限度額以上になってから返済することができる。多くの大学では 2004 年から入学者数を大幅に増員したため、卒業生の数は 2009 年から増加している。

2008 年のデータ	
学校の数	15 校
定員数 (入学数)	1063 人
卒業数 (2007)	844 人
女性の割合	52%

大学	歯学部学生数	毎年の卒業生数
Aberdeen	None yet	None yet
Belfast	209	38
Birmingham	408	65
Bristol	324	48
Cardiff	325	57
Dundee	353	54
Glasgow	419	75
Leeds	387	51
Liverpool	378	50
London	1193	211
Manchester	407	72
Newcastle	427	70
Plymouth	120	None yet
Preston	64	None yet
Sheffield	371	53
合計	5,385	844
2004 年以降、多くの大学が定員を増やしたため、2009 年以降卒業生数は増加する見込みである。		

質の保証

The General Dental Council は、歯科大学のカリキュラムの質を保証するための責任を担っており、歯科医師と歯科医療従事者を養成する学校の教育課程の内容と質の審査を定期的に行っている。

2) 歯科医師としての資格の取得と研修

(1) 歯科医師の資格

すべての大学において卒業時に歯科医学の学士号 Bachelor of Dental Surgery (BDS、BChD) を取得することができる。1960 年代後半までは、多くの大学は LDS (Licentiate in Dental Surgery) の学位を与えてい

た。LDS は、Royal College of London、Edinburgh、Glasgow で授与されていたが、2003 年以降は授与されなくなった。

(2) 卒後教育 (Vocational Training)

英国において、卒後教育は卒業後の必須の資格となっている。卒後教育を受けない場合には、NHS システム下では働けない。

3) 歯科医籍の登録

英国内で歯科診療を行いたい歯科医師は歯科医療審議会 (General Dental Council : GDC) に必ず登録しなくてはならない。GDC は歯科医師の監督当局であり、歯科医師の登録および専門医の名簿管理を行っている。歯科医師としての登録費用には 550 ユーロかかる (2008 年)。

有資格者が、英国で歯科医師として登録するためには、EU/EEA 内の歯科大学を卒業したことの証明書、および、現在登録している国の保健当局からの本人が特に問題がないことの保証する手紙 (英国以外の国の歯科医師の場合) パスポートと健康診断書を提出しなければならない。

EU 国民ではあるが EU 以外の国の歯科大学を卒業している場合は、その資格、技能、知識、経験等が英国の歯科医師に比べてどうであるか、GDC が評価を行う。もし GDC がその候補者は基準を満たしていないと判断したならば、外国歯科医師登録試験 (Overseas Registration Examination, ORE) を受験しなければならない。

必要言語

EU 国民に関しては、歯科医師として登録する際には英語の試験を特に設けてはいない。しかしながら、IELTS などの語学試験に合格することが、NHS のもと一般開業医として働くためには必要とされている。EU 国民でないものは IELTS をパスし、その後 GDC の外国歯科医師登録試験に合格しなくては、歯科医師として登録することはできない。

4) 卒後教育と専門医養成

(1) 卒後教育 (Vocational Training)

英国では NHS の仕事を行うためには、歯科医師は通常、開業医、パブリッククリニック、病院において指導者の元で臨床研修プログラムを修了しなければならない。GDP や地域での歯科研修は、週に 4 日臨床診療を主として行い、週に 1 日は自由コースを提供している。独立して開業する前に、また、非監督下での治療を行うためには、臨床研修の修了証を取得しなくてはならない。

英国以外の EU 加盟国の歯科大学の卒業生は、臨床研修を受ける条件を免除されるが、もし希望するならば研修を受けてもよい。EU 以外の国の卒業生は臨床研修を受けるか、もしそれまでに一般診療に従事した十分な経験があるならば能力技能訓練 (competency training) を一般開業医で受ければよい。雇用先の一般歯科医院、PCT (Primary Care Trust) などによって、雇用先の歯科医師のサポートの下で能力技能訓練の時間が与えられる。臨床研修あるいは能力技能訓練修了して初めて、歯科医師は地域の有資格者リストに名前が掲載され、NHS のもとでの患者治療が許可される。

スコットランドと北アイルランドでは、EU 以外から来た歯科医師はまずはメインリストに登録された歯科医師の下で働く補助スタッフ名簿に加えられ、通常は常勤として 1 年間勤務あるいはそれと同等の仕事量を行う非常勤勤務の期間が過ぎたらメインリストに登録される。

(2) 生涯研修

専門医、行政医、登録している退職した歯科医師を含め、すべての歯科医師が 5 年間に 250 時間に及ぶ生

涯研修を受けなければならない。この生涯研修には 75 時間の証明付き卒業研修 (verifiable postgraduate education) と、175 時間の一般生涯研修 (general /informal postgraduate education) が含まれている。verifiable activity は授業コースへの参加や、双方向の遠隔授業、診療評価、ピアレビューなどがあり、これらすべてに学習目標や具体的な成果が定められている。2007 年より verifiable activity にはいくつかのコア科目が入るようになり、放射線防御と感染防御も含まれるようになった。歯科医師は活動内容を必ず記録し、毎年順守したことを証明しなくてはならない。この生涯研修制度は GDC により管理運営されている。

NHS の歯科医師は、生涯研修の一環としてピアレビューと診療評価に参加することが義務づけられている。スコットランドでは NHS に登録している歯科医師は、これらの生涯研修に参加している時間に稼げたであろう診療収入の補償手当を受けることができる。

大学院課程の歯科専門教育はロンドンとエジンバラの二か所の大学に設置されているが、学部教育を行う他の多くの大学にも卒業教育機関が設置されている。

(3) 専門医養成

専門医の養成はすべて Medical Royal College の監督の下、登録されている病院、PCT、他の保健当局のトレーニング場所等で、general professional training (臨床研修期間を含む) の 2 年間に引き続き、3 ~ 5 年かけて行われる。どの専門医を目指すかにより異なるが、専門医になるためには 5 ~ 7 年が必要である。GDC は条件を満たす歯科医師に専門医としての名称使用の許可を与え、また、その登録名簿の管理を行う。英国の口腔外科と矯正の二つの分野の専門医は EU によっても承認される。英国の法律の下では、人々および歯科医師の双方の利益になると考えられれば、どのような専門医も GDC は承認することができる。GDC の名簿に登録された歯科医師は、専門医を名乗れることを意味するが、臨床範囲が登録された分野に限定されるということではないし、専門外の分野で治療する権利を制限するものではない。

英国では 2008 年現在、以下の分野の専門医が承認されている。

- ・ 口腔外科専門医
- ・ 歯内療法専門医
- ・ 歯科矯正専門医
- ・ 歯周病専門医
- ・ 保存修復専門医
- ・ 補綴専門医
- ・ 歯科公衆衛生専門医
- ・ 口腔内科専門医
- ・ 小児歯科専門医
- ・ 口腔細菌専門医
- ・ 口腔病理専門医
- ・ 歯科顎顔面放射線専門医

4. 歯科医療従事者の種類と労働人口(Workforce)

1) 歯科医師

労働人口が徐々に増加しているにも関わらず、英国の一部の地域では深刻な歯科医療従事者の不足が生じている。理由は複雑であるが、非常勤で働く女性歯科医師の増加が大きな原因だと考えられる。英国の 4 つの政府は、この歯科医療従事者の問題について異なる対応をしている。

2008 年のデータ	
全登録歯科医師数	35,873 人
医療従事歯科医師数	31,000 人
歯科医師一人当たりの人口 (診療従事者数のみ)	1,976
女性歯科医師の比率	40%
海外での免許取得者	8,672 人

上述したような歯科医師の不足問題にも関わらず、英国では歯科医師としての資格をとってすぐの者に未就労の者がいることが報告されている。新しく資格を得た歯科医師は、NHSで独立して診療にあたる前にNHSで臨床研修を受けることが義務付けられている。英国の中には、そのような研修を行う場所が十分にあるが、新卒の歯科医師はそのような場所では働けなかったり、働きたいと希望しないことがある。

英国内外への歯科医師の動き

英国で資格を得た歯科医師の人数	27,201 人
EU/EEA で資格を得た歯科医師の人数	4,865 人
試験を受験して資格を得たもの	1,622 人
その他の手段で資格を得たもの	2,185 人

今世紀の初め、特に 2004 年より新しい EU 加盟国より英国への歯科医師の移住が相次いだため、英国では歯科医師は増加している。

英国で資格を得たもの	27,201 人
アイルランド	613 人
スウェーデン	957 人
その他の EU/EEA	3,278 人
南アフリカ	1,420 人
その他の海外	2,404 人

2) 専門医

一部の専門医はコンサルタントとして病院で働いている。しかし、歯科公衆衛生の分野で働くコンサルタントはプライマリーケア基金やその他の地域保健医療当局に雇われている。大学附属の教育病院で働いている専門医もいる。

現在、多くの専門医が開業医としてその専門分野に特化した診療に従事しているが、希望すれば専門医も一般診療を行うことができる。しかし、専門医としての診療を行う場合は、一般開業医や他の専門医からの紹介患者の治療を行うことが普通である。現在、矯正専門医は非常勤あるいは常勤の専門医として病院外で働くことが多く、病院での矯正治療では手術介入を伴うような複雑で高度な症例が増加している。

2008 年のデータ	
歯科矯正専門医	1,158 人
歯内治療専門医	187 人
小児歯科専門医	224 人
歯周病専門医	280 人
歯科補綴専門医	377 人
保存修復専門医	290 人
歯科顎顔面放射線専門医	25 人
口腔外科専門医	768 人
口腔顎顔面外科専門医 (OMFS)	220 人
歯科公衆衛生専門医	116 人
口腔内科専門医	82 人
その他	33 人

専門医による組織や学会の数は多い。

3) 歯科医療補助職

英国では歯科医療補助職は口腔ケアの専門家（dental Care Professionals, DCPs）と呼ばれている。チェアサイドでのアシスタントを行う歯科看護師以外に、6つの職種がある。

- ・ 歯科衛生士
- ・ デンタルセラピスト（Dental Therapists）
- ・ 矯正セラピスト（Orthodontic Therapists）
- ・ 歯科技工士
- ・ 臨床歯科技工士
- ・ 口腔健康教育士（Oral Health Educators）

口腔健康教育士を除く、他のすべての口腔ケアの専門家は General Dental Council（あるいは公的教育プログラム）に登録しなければならず、GDC によって定められた厳しい倫理規定や職業規範を守らなければならない。これらの歯科医療補助職も5年間で少なくとも150時間は生涯研修を受けなくてはならない。最低50時間は証明付きの生涯学習 verifiable CPD (Continuing Professional Development) でなければならない。証明付きの生涯学習（Verifiable CPD）であるためには、明確な学習目的と目標、期待される結果、質の保証がある研修であり、適切な第三者機関による参加・出席の書面での認証が必要とされる。

未登録の者によって違法の歯科医療行為が行われていることがあるが、そのような者は GDC によって告訴される。

2008年のデータ	
歯科衛生士	5,340人
歯科技工士	7,094人
臨床歯科技工士	93人
歯科看護師	40,665人
デンタルセラピスト	1,154人
矯正セラピスト	10人
その他	0人
歯科医療補助職総数	51,951人

注)何人かの歯科医療補助職は複数の職種に登録しているため、個々の職種の合計よりも総数が多くなっている。

(1) 歯科衛生士

歯科衛生士の養成は歯科衛生士学校で通常24~27か月間行われる。歯科衛生士学校は歯科大学に併設されていることが多い。歯科衛生士学校に入るためには、通常歯科看護師としての資格が必要であり、成績はAレベルが要求される。資格をとるとディプロマが与えられる。スコットランドのダンディーにある学校では現在、授業の期間が3年に延長され、学位が授与される。

歯科衛生士は歯科医師の指導下でのみ働くことができる。歯科医師は歯科衛生士の治療プランを準備するが、歯科衛生士の治療に立ち会わなくてもよい。歯科衛生士の仕事は2003年まではGDCによって決められていたが、法律の改変により、どのような訓練を受けたかにより許される仕事の範囲が定められることになった。

歯科衛生士の主な仕事は以下のとおりである。

- 幅広い年齢層の患者を対象に口腔衛生ケアを提供する。
- 歯周組織の状態を改善あるいは維持するために患者のセルフケアの計画をたてる。
- 歯科に関する詳細な既往歴と全身の既往歴を聴取する。
- 歯周組織検査を行い、結果を記録する。歯周病の状態を把握し、モニターするためにさまざまな指標を利用する。
- 患者に予防的口腔ケアを提供し、歯科医師がう蝕、歯周病、歯の摩耗等の治療をする際に協力する。
- 手用および超音波機器を使用して縁上・縁下歯石の除去および根面デブライドメントを行う。
- プラークに起因する疾患の管理を適切な抗菌薬を用いて行う。
- 歯周治療の一環として修復物の表面の調整を行う。
- フッ化物の歯面塗布とフィッシャーシーラントを行う。
- 患者に禁煙指導を行う。
- 一般歯科治療の中で X 線写真を撮り、現像し、患者に説明する。
- 浸潤麻酔
- 仮封とテンポラリーセメントでのクラウンの仮着を行う。
- 印象採得を行う。
- 解剖学的な特徴を見極め、異常のあるものを認識し、一般的な病態を解釈し、口腔がんのスクリーニングを実施して、適切な医療専門医へ紹介する。
- ラバーダムをかける。
- 救急蘇生を行う。

歯科衛生士がさらなるキャリアの向上で習得できる技術には以下のようなものがある。

- 歯科医師の指示の下でホワイトニングを行う。
- レントゲン撮影の指示を出す。
- 吸入鎮静法を行う。
- 歯科医師が確認した後に、創傷の抜糸を行う。

歯科衛生士が行ってはいけない事項としては以下が挙げられる。

- 病気を診断する。
- 歯の修復をする。
- 根管治療を行う。
- 修復をしていない歯の表面を調整する。
- 抜歯する。

病院や診療所で働く歯科衛生士の給料は、時間給でもらったり、診療費の一部を歩合としてもらったりしている。常勤の歯科衛生士の給料は職場環境により異なるが、一般診療に従事している者の方が給料は高い。歯科診療所を持っており、歯科医師を 1 名以上雇っている歯科衛生士もいる。

(2) デンタルセラピスト

デンタルセラピストの養成にはいくつかの異なったコースがあり、それぞれの養成学校によって入学資格も異なる。多くの場合、入学のためには、A レベルか GCSE で 6 科目以上の履修が義務づけられている。多くの学校では、デンタルセラピストの養成にはフルタイムで 27 か月必要である。デンタルセラピストは歯科衛生士の業務もできるよう同時に訓練されている。いくつかの学校は授業期間を 3 年間に延長することで、学士号が取得できるようにしている。

さらに、現在では、すでに歯科衛生士の資格を持つ者に対してさらにデンタルセラピストとしての資格を得るための集中授業を受けられるコースを設けている学校もあり、これは一日の授業時間により異なるが、6か月から12か月ほどで取得できる。2004年に2つのデンタルセラピストの学校がSalfordとPortsmouthに開校したが、そこでは、たとえAレベルでなくても6ヶ月間の基礎コースを先に取れば、歯科看護師の資格を持つ学生の入学を認めている。

デンタルセラピストの資格を取得したものは、ディプロマや学士が授与される。診療を開始する前に必ずデンタルセラピストはGDCに登録しなくてはならない。デンタルセラピストの給料は歯科衛生士と同程度である。

デンタルセラピストは診断を行わず、患者の治療計画に対する責任もない。歯科医師はデンタルセラピストの治療プランを準備しなければならないが、治療の際にいる必要はない。デンタルセラピストは歯科衛生士と同じ業務を行うことができ、さらに以下の業務に従事することができる。

- 乳歯、永久歯に直接充填を行う。
- 乳歯に対して生活断髄を行う。
- 乳歯を抜歯する。
- 乳歯に既成冠をセットする。
- 患者のケアプランを作成する。

デンタルセラピストがさらなるキャリアの向上で習得できる技術には以下のようなものがある。

- 吸入鎮静法を行う。
- 処方箋の詳細な内容を変更する。(処方箋の発行は禁止)
- レントゲン撮影の指示を出す。
- 歯科医師の指示の下でホワイトニングを行う。
- 歯科医師が確認した後に、創傷の抜糸を行う。

デンタルセラピストは、あらゆる臨床の場で仕事に従事することができる。

(3) 矯正セラピスト

この資格はDCPにより新しく設立されたもので、2007年に授業が開始され、2008年に初となる10名の矯正セラピストが登録された。

矯正セラピストの養成は現在6校(ブリストル、カーディフ、エジンバラ、リーズ、マンチェスター、ワーウィック)で行われており、最短一年でディプロマを取得できる。歯科看護師、歯科衛生士、デンタルセラピスト、歯科技工士の資格を有する者で、条件を満たす臨床経験のある者はこのコースを受講することができる。

矯正セラピストは治療で以下のような役割を担う。

- 矯正治療の開始前に歯面清掃及び歯面研磨を行う。
- 適切な器具を見極め、選び、使用し、維持管理する。
- 受動的可撤式矯正装置を装着する。
- 歯科医師により調整された能動的可綴式矯正装置を装着する。
- 固定式矯正装置、矯正用接着剤、接着セメントを除去する。
- 印象採得を行う。
- 研究模型作成のための石膏注入、トリミングをする。
- 歯科医師不在下での矯正装置の安全を確認する。

- 矯正用ヘッドギアの調整を行う。
- 歯科医師によって調整された矯正用フェイスボウの調整を行う。
- 咬合採得（下顎矯正のためのフェイスボウの判読を含む）を行う。
- ブラケットとバンドを装着する。
- アーチワイヤーの準備、装着、調整、除去をする。
- 矯正装置の管理についての患者への説明と口腔ケアについての指導を行う。
- 歯間拡大装置の調整を行う。
- 下顎舌側保定装置の調整を行う。
- 他の医療専門家へ紹介を行う。
- 救急蘇生を行う。

矯正セラピストがさらなるキャリアの向上で習得できる技術には以下のようなものがある。

- 歯科医師の処方に基づきフッ化物パーニッシュを塗布する。
- 矯正装置のアクリルの部分を修理する。
- プラークと歯肉の状態を指標を用いて評価する。
- 歯科医師が確認した後に、創傷の抜糸を行う。

矯正セラピストが行ってはいけない禁止事項としては以下が挙げられる。

- 歯肉縁下歯石を除去する。
- 局所麻酔を実施する。
- クラウンを再セットする。
- 仮封をする。
- 活性薬剤の塗布

矯正セラピストは病気の診断や治療計画の立案、矯正用ワイヤーを締めることはできず、これらは歯科医師によって行われる。

(4) 歯科技工士

歯科技工士の養成は 11 の大学と短大で行われており、卒業証書か証明書(ビジネスと技術教育評議会：Business and Technician Education Councils (BTEC)、スコットランド職業訓練委員会:Scotvec in Scotland)、あるいは学士 (Birmingham、Liverpool、London、Nottingham College では歯科技工学基礎学士を授与する) を取得することができる。教育課程は基本的には 4 年間で、さらに 2 年間の専門課程を受講することもできる。

歯科技工士は独立して働く前に、GDC に登録しなくてはならない。歯科技工士の給料については不明である。歯科技工士は歯科医師に指示された技工物を作成することが許されているが、それを患者の口腔内では行ってはいけない。

歯科技工士の仕事は以下のとおりである。

- 技工室に持ち込まれた症例について、どのように技工物を作成するか検討する。
- 歯科医師や臨床歯科技工士と協力して働き、歯科技工物のデザインを決定する。
- 技工指示書に基づき、カスタムメイドの歯科技工物のデザイン、計画、製作を行う。
- 歯科技工物の修理、修正を行う。
- 人工歯の色や形を合わせる。
- 技工室における物理的、化学的、細菌学的汚染を防ぐための感染予防対策を行う。
- 完全で正確な技工記録を保存する。

- 完成して技工室から診療所へ送られた技工物の安全性と質を保証する。
- 他の医療専門家へ紹介を行う。

歯科技工士がさらなるキャリアの向上で習得できる技術には以下のようなものがある。

- 診療所において歯科医師の治療の補助を行う。
 - 印象採得
 - フェイスボウの記録
 - 口腔内、口腔外でのトレース (Intra-oral and extra-oral tracing)
 - インプラントのフレームの評価
 - 咬合採得、バイト
 - Cad-Cam のための口腔内の窩洞のスキャン
 - チェアサイドで歯科医師の補助としてアタッチメントの調整
- 診療所で臨床歯科技工士の治療の補助を行う。
 - 印象採得
 - フェイスボウの記録
 - 口腔内、口腔外でのトレース (Intra-oral and extra-oral tracing)
 - 咬合採得
 - 頭部 X 線規格写真のトレース
 - 口腔内写真の撮影

歯科技工士が行ってはいけない禁止事項としては以下が挙げられる。

- 診療所で歯科医師と一緒にではなく歯科技工士だけで働く。
- 可撤性補綴物作成の際に臨床的な行為を行う。
- 技工士だけで、患者の臨床的な診査を行う。
- 口腔粘膜とその下部組織の異常を鑑別する。
- 可綴式補綴物の調整を行う。

歯科技工士は、口腔内の処置が必要ない場合には人々の義歯の修理を行うことが許されている。歴史的には歯科技工士は歯科医師に雇われて、歯科診療室に設置された技工室で働いていたが、2008 年以降はこのような状況は非常に珍しくなった。現在では、多くの歯科技工士は民間の歯科技工所で働いており、歯科医師、PCT、他の保健当局に技工物の料金を請求している。病院に雇われて働いている歯科技工士もいる。

(5) 臨床歯科技工士

2008 年までは、英国国内でこの資格を取得する教育コースはなかった。カナダのジョージブラウンシティカレッジのコースは GDC のカリキュラム基準を満たしてはいたが、EU 以外の国の資格であるため、GDC は登録すべき資格としては認めていなかった。しかし、General Dental Practice の学部（一般歯科診療学部）はこの卒業証書を認め、ジョージブラウンシティカレッジの卒業生に独自の卒業証書を与えていた。一般歯科診療学部の卒業証書は歯科医療補助職として登録される資格となり、現在、ジョージブラウンシティカレッジの卒業生のみが、この資格保有者として認められている。

2008 年 7 月、英国の制度に基づいた初めての臨床歯科技工士のコースがエジンバラ歯科大学において 2008 年後半より提供されると発表された。

臨床歯科技工士の専門性は、可綴性補綴物を作成し、患者に直接試適することができることである。仕事は主に義歯の作成である。デンタルチームのメンバーから独立して、自らの判断で無歯顎の患者に対して

総義歯を作成することができる。現在では、歯科医師が患者の口腔内状況を診て治療計画を立てた場合には、部分床義歯も同様に独立して作成することができる。

臨床歯科技工士の仕事は以下の通りである。

- 歯科既往歴と全身的既往歴を聴取する。
- 患者に可綴式補綴物をセットするための技術的、臨床的な処置を行う。
- 臨床的に診査を行う。
- 可撤式補綴物をセットするために必要となるレントゲンや他の画像撮影を行う。
- 加齢変化による正常と病的な状態の鑑別をする。
- 口腔粘膜とその下部組織の異常を見つけ、必要な紹介を行う。
- 可綴式補綴物の調整を行う。
- 適切な助言を患者に行う。

歯科技工士がさらなるキャリアの向上で習得できる技術には以下のようなものがある。

- 口腔健康教育を行う。
- スポーツ用のマウスガードを作成する。
- テンポラリーセメントでクラウンの再セットを行う。
- 歯科医師の指示の下、いびき対策用の装置を作成する。
- 歯科医師が確認した後に、創傷の抜糸をする。

臨床歯科技工士は独立して働く前に GDC に登録しなければならない。臨床歯科技工士の給料については不明である。他の歯科医療補助職と同様の規範に基づき働いている。

(6) 歯科看護師

歯科看護師は歯科医師の助手としてチェアサイドで働く。英国では、歯科看護師は通常感染対策を行い、患者の検査結果の記録をとる。

歯科看護師の教育と養成は最初のうちは非公式的に雇用主の歯科医師によって行われるが、短大や専門学校にもさまざまなレベルの歯科看護師の off-site 教育システムがある。典型的なコースは 1 週間に 1 回、あるいは夜間に講義があり、歯科看護師の研修生はこの授業を履修しなければならない。

試験当局による最終試験を経て、国の認定機関によって認められた専門資格が与えられる。資格を得た歯科看護師は GDC に登録をしなければならない。登録した歯科看護師は、歯科医師とともに働くことができるが、他の歯科医療補助職と同様に、生涯研修を受けるや規範に従うことが要求される。

歯科看護師の仕事は以下のとおりである。

- 装置も含めて、診療室の環境を整え維持する。
- 手術室あるいは技工室での物理的、化学的、細菌学的汚染を防ぐための感染予防対策を行う。
- 他の歯科医療担当者が実施した口腔内診査を記録する。
- 歯科材料の準備、練和などの取扱いを行う。
- 治療中の施術者に対するチェアサイドでの補助をする。
- 完全かつ正確な患者の記録を保存する。
- 歯科レントゲン撮影のための装置や材料を準備する。
- 歯科レントゲン写真を現像する。
- 患者をモニターし、支援して、安心させる。
- 患者への適切な助言を行う。

- 医学的な緊急事態の時に患者と同僚に支援を行う。
- 救急蘇生を行う。
- 他の医療専門家へ紹介をする。

歯科看護師がさらなるキャリアの向上で習得できる技術には以下のようなものがある。

- 口腔健康教育やオーラルヘルスプロモーションを行うためのより高度な技術を獲得できる。
- 意識下鎮静法で治療を行っている患者の補助を行う。
- スペシャルケアが必要な患者の治療における診療補助の技術を獲得できる。
- 口腔内写真撮影を行う。
- 人工歯の色や形を合わせる。シェードテイキングを行う。
- ラバーダムを装着する。
- プラークの付着状態を測定し記録する。
- 研究模型への石膏の注入、トリミングをする。
- 歯科医師が確認した後に、創傷の抜糸を行う。
- 個人トレーと咬合堤の作成をする。
- 可綴式補綴物のアクリルの部分の修理をする。
- 頭部 X 線規格写真のトレースをする。

歯科医師の指示下、行うことのできる更なる技術は以下の通りである。

- 歯科医師の指示の下、レントゲンを撮影する。
- 歯科医師の指示の下、局所麻酔を行う。
- 歯科医師の指示の下、フッ化物パーニッシュの塗布を行う。
- 歯科医師の指示の下、マウスガードやホワイトニング用のトレーを作る。
- 歯科医師や臨床歯科技工士の指示の下、印象を採得する。

歯科看護師は診断をしたり治療計画を立案したりすることはない。他のすべての技術は、登録された他の歯科医療補助職でも実施できるものである。

(7) 口腔健康教育士 (Oral Health Educators)

口腔健康教育士は個人や集団に対して口腔ケアに関する指導を行う。これは歯科医師による監督の有無に関わらず、あらゆる状況下で行われる。ディプロマをとることは可能だが、口腔健康教育士の資格は登録する必要はない。一般の教師や歯科看護師などが口腔健康教育士となることが多い。

5. 歯科医療(施設の種類の別)

2008年のデータ	
一般歯科医(開業医)	24,000
公的歯科医療施設	1,800
大学	400
病院	2,000
軍隊	210
政府	250
全体に占める一般開業の割合	77%
診療所の数	11,000

NHSで監督なしで働くためには全ての歯科医師は英語が話せることが必須である。IELTS という試験を行い、リスニング、スピーキング、アカデミックリーディング、アカデミックライティングの 4 つの分野で最低 6 を獲得しなければならない。

加えて、犯罪による 6 か月以上の実刑を、いかなる国においても受けていないことを証明しなければならない。

1) 開業医 (General Practice)

英国では、病院や学校以外で、個人あるいは数名で開業し、一般的な幅広い診療を提供している歯科医師を開業医と呼ぶ。イギリスには 11,000 人の一般開業がいるとされる。約 3 分の 1 が個人で開業しているが、大抵の開業医は 2 名以上の歯科衛生士や歯科療法士を雇っており、グループ診療を行っている。

いくつかの開業医は患者の技工物を作成するために歯科技工士によって所有されていたり、自ら歯科技工所を営んでいたりする。しかしながら、このような開業医はまだ NHS の治療の対象とはなっていない。臨床歯科技工士は無歯顎の患者に総義歯を作成するとき以外は、必ず歯科医師の指示下で働かなくてはならない。

開業医として働く多くの歯科医師は自営業者であり、患者の治療費と政府からの支払い金により生活している。開業医の数が増加するに従い、私費治療のみを行う歯科医師も出てきたが、このような歯科医師はまだ全ての開業医の 20% 以下である。

(1) イングランドとウェールズ

開業医は行った治療に応じて報酬を得るのではなく、UDA (Units of Dental Activity) が契約価値に応じて定めた年間固定収入額の 12 等分された額を毎月支払われる。これは、患者への歯科治療の費用から歯科医師、その他歯科医療従事者の費用まで全てを含んだ額である。設定された目標を達成できないと、支払額の返納や次年度からの契約価値が下げられることになる。

例えば、2006 年の 4 月 1 日に開業し、契約したとすると、契約価値は 2004 年の 10 月 1 日から 2005 年の 9 月 30 日までの活動に基づいて定められることになる。多くの歯科医師はこの UDA の契約価値の設定方法には欠陥があるとしている。

鎮静治療など通常の契約価値には含まれていない治療に対する患者からの直接的な支払いは、直接収入となる。

(2) スコットランドと北アイルランド

NHS が規定した料金表によって、政府と患者の負担割合が定められている。570 ユーロを超える歯科治療、成人への矯正治療などを開始する前には、中央当局 (Practice Services Dental Division, Central Services Agency) の許可が必要である。加えて、基本的な診療費や年功、継続教育に応じて追加的な給付手当が発生する。

(3) 英国全体

受けた治療費の全額を自己負担する私費治療の患者に対して、支払額の限度は設定されていない。民間医療保険については前述を参照のこと。

同じ開業医に勤務する歯科医師間の契約的な必要事項は特に無い。BDA や他の同様の機関に契約書の草案がある。これらの契約は自営業単位で行われ、雇用の権利は全くないか限定されている。

開業医における雇用者は、雇用の権利や雇用機会均等、出産手当、労働衛生、最低休暇、健康、安全の面で英国およびヨーロッパの法に基づき保護されている。

開業するためには

歯科医師の開業場所を制御するための特別な法律は存在しない。NHSの対象外として開業するならば、地域の計画法に従えばあらゆる場所で開業できる。

鎮静治療や新しい治療を行う開業医に対しては、開業前に PCT や地方保健当局が安全衛生規制を遵守していることを検査する権利がある。歯科医師や従業員数に関する規定はないが、歯科治療を行うために適した建物でなければならない。建物は所有あるいは賃貸でいい。開業するに当たり、州から少額の援助があり、歯科医師は銀行でローンを組むことが多い。

歯科医師は通常は、研修を修了した後、勤務医として働き始める。その後、開業する。伝統的には開業医は自宅や店の上の階が多かったが、現在では、一階に開業するものや、高級店舗が並ぶ通りやショッピングモールあるいは医療ビルの中に開業するものも増えている。

開業医は GDC の登録者によってのみ所有されているが、配偶者を亡くした者は配偶者の死後 3 年を限度として歯科医院を所有できる。

開業医として NHS に属するためには歯科医師は損害賠償保険への加入、診療所の住所と地域保健当局への登録時期を明らかにしなければならない。

NHS の開業医は一週間に平均 160 人の患者を診察し、約 2,500 人の患者が彼らの患者としてリストに登録されている。完全な私費患者は少数である。

私費患者専門の開業医は一週間に平均 100 名の患者を診察する。BDA によると、歯科医師の数が増加するにつれ、NHS からは独立し完全な私費診療のみを行う歯科医師の数も増加しているという。

イングランドとウェールズ

2006 年 3 月 31 日以降に契約を結んだ全ての歯科医師は新しい NHS に加盟することが許されている。しかしながら、2006 年 3 月末時点で契約を結んでいない歯科医師が、新たに NHS の治療を提供する診療所の開業を希望する場合は、開業希望地域での資金調達をしなければならない。資金調達ができることが、利用可能な資金獲得と PCT による地方のニーズ評価を決定する。

スコットランドと北アイルランド

NHS に属する診療所の開業には規制はないが、診療の手当はない。実際のところ、特定地域での開業を促すインセンティブ政策がある。

2) 公的歯科医療施設 (Public Clinic)

公共歯科(CDS)は地域歯科サービス (salaried Primary dental care service) として知られている。従事するものの多くが子供への治療や在宅歯科治療、身体障害者など歯科治療を受けることが困難な者への治療を提供している。このサービスは歯科医師を clinical dental officer や senior dental officer, dental service manager として雇い運営されている。公共歯科サービス(CDS)の一員として働くためには専門的な卒後教育が義務ではないが、資格によって昇進できる。多くを女性が占めている。

多くの公的歯科保健サービスが、個人の開業医によっても提供されるようになってきているのは、NHS の歯科治療においてアクセスの問題があると保健当局が考えているからだ。

公共歯科サービスにおいて歯科医師のモニターは保健当局より発行されたガイドラインに沿って行われる。全ての歯科スタッフは診療評価に参加することが義務付けられている。苦情処理についてはすでに述べたように他の歯科医師と同様である。

3) 病院

病院で働く歯科医師は NHS 信託 (NHS trust) の職員である。病院歯科医師は、非常勤で働いても良く、制限がないことを、雇用主が許可した場合、病院外でも治療ができる。

歯科医師は hospital consultant, associate specialist, staff grade position として働く。病院には career grade post, junior training grade post (eg house officer, specialist registrar) がある。コンサルタントとして昇進するためには、専門家の養成課程を履修しなければならない。Maxillo-facial surgery (顎顔面手術) に従事するためには歯科の資格の他に医科の資格も必要である。

病院で働く歯科医師は診療評価と Royal Surgical Colleges の教授陣によって監督される。全ての病院歯科医師は診療評価に参加することが義務付けられている。

4) 大学歯学部

大学の歯学部で働いている歯科医師は皆被雇用者である。個人的な診療は多くの場合、制限されており、歯科医師は雇用主と交渉することになる。しかしながら、多くの地域の歯科医師や GDP は非常勤の講師として働いている。

イギリス歯学部での主な職階は、大学教授、senior lecturer、講師 (Lecturer) である。英国では歯学部教員は大学での肩書きの他に病院での名誉肩書きもある。歯科医師は昇進するために、博士号や修士号などの学位取得や論文発表だけでなく、臨床専門家のトレーニングも受けなければならない。大学の歯科医師は約 60% の時間を歯科臨床に費やし、残りの時間を教育と研究、大学運営に費やす。

5) 軍隊

2008 年、軍隊に従事する常勤の歯科医師の約 3 分の 1 が女性であった。

2008 年の歯科医師の数	
陸軍	121 人
空軍	47 人
海軍	42 人

6. 職業上の事項 (professional matters)

1) 職業組合

英国における歯科医師のための主な組織は英国歯科医師会 (BDA, British Dental Association) である。

	数	年	出典
英国歯科医師会	20,680 人	2008 年	BDA
歯科医師組合	2,500 人	2008 年	DPA

現役歯科医師の約 60% が英国歯科医師会のメンバーである。専門家の組合であると同時に英国歯科医師は歯科医師のための労働組合でもあり、NHS の下で働く歯科医師の労働安全環境改善のために 4 つの英国の政府 (イング

ランド、ウェールズ、北アイルランド、スコットランド)との交渉を行う。英国歯科医師会には学会としての役割もある。学会には4つの専門分野があり、中央委員会が代表をつとめている。その4分野とは、General Dental Practice, Hospital Dental Services, Community and Public Dental Services, Clinical Academic Staffである。さらに英国歯科医師会は地方支部と地方部会が存在する。

また、専門医の組織以外に開業歯科医による小規模の歯科医師会や研究会、勉強会も存在する。

2) 倫理と規則

(1) 倫理規定

歯科医師としての規範は歯科医師の登録機関である GDC によって発行されたガイダンスに記されており、患者との契約や同意、守秘義務、継続教育、広告が含まれている。この規範は GDC によって規定されている。歯科医師間や歯科医師と歯科医療従事者間の関係に対する助言とガイダンスは BDA (英国歯科医師会) や他の組合により提供されている。

(2) 懲戒

GDC は英国の歯科医師の主な規範を定める機関で、歯科医師や歯科医師でないものを含め 70 名以上の Fitness to Practice Panel (FTPP) が審査員団を構成し、職業上の行為や健康問題、再登録、勤務評価について審議する。

審問は法定において行われ、検察側と弁護側、そして参考人が招集される。陪審員は法律顧問により援助される。FTPP の陪審員の勧告の下、診療でミスを起こした歯科医師は犯罪の程度により訓戒、執行猶予、歯科医師リストからの抹消が行われることがあり、そのような場合には診療に携わる権利を失うことになる。歯科医師には、法廷闘争に持ち込む権利がある。

(3) 情報の保護

英国では情報の保護規制は厳格に行われ、すべての歯科医師がこれを満たさなければならない。情報監督官に対する毎年の届出(年 50 ユーロ)はコンピューター上で情報を管理している開業医に義務付けられている。

(4) 広告

法的であり、社会的基準からみて見苦しくなく、公正で真実に基づいている広告や宣伝物のみが許可されている。歯科医師は新聞や雑誌、ラジオ、そしてテレビで宣伝することが許されている。紙に印刷されたものを含むすべての広告は、少なくとも一人の歯科医師の名前を含んでいなくてはならない。広告や宣伝物は悪評を含んではならない。また、立証が不可能なことや他の歯科医師や治療に対する優位性を記すことも許されていない。

歯科医師は広告のためにウェブサイトを利用してもよいが、英国歯科医師会は CED の定めたガイドライン(2001 年 Directive on Electronic Commerce が成立したのちに制定された)に従うように勧告している。

(5) 損害賠償保険制度

賠償責任保険への加入は NHS の下で働く全ての歯科医師に義務づけられている。専門職の損害賠償保険は Dental Protection Ltd, the Dental Defence Union, そして the Medical and Dental Defence Union of Scotland and some commercial companied により提供されている。これらの保険は助言、訴訟費用をカバーし、事実上無制限の損害賠償を受けられる。歯科医師のタイプにより、異なった額の保険が用意されているが、常勤の一般歯科医の場合は年間約 1,950 ユーロ支払うことになっている。(開業しているものは 2,150 ユーロである。)

損害賠償は、海外で働く歯科医師も補っている。

(6) 歯科法人

2006年まで歯科医師のみが歯科診療所を経営することができたが、新しい規則ではGDCの全ての登録者が開業することができ、法人組織にすることも可能になった。外部の商業組織により経営されている診療所もある。法人化してチェーン展開する診療所では株式市場に上場し、300か所以上開業しているものもある。グループ開業をしている多くの歯科医師が法人化することは金銭的に有利だと考えている。

言うまでもなく、現在、これら全てのケースにおいて管理者の多くが歯科医師、あるいは歯科医療の専門職でなければならない。

(7) ホワイトニング

2001年6月、上院は歯のホワイトニングの代理店は、医療用品の網領ではなく、EUの審美網領によってカバーされるようにという条約を承認した。これは、0.1%以上の過酸化水素を含む製品、あるいは同等量を放出する混合物を含む製品は法律で罰せられる行為であるということを示す。ホワイトニングの製品は通常、3.6%の過酸化水素を含む。

2007年以降、GDCは「歯の審美的な改善を目的とした材料を歯に用いて処置することは登録歯科医師のみに許されるとした。ホワイトニングに関する臨床的なアドバイスについても同様である。違法な治療を行う歯科医師はGDCによって刑事的に告訴される。

3) 職場での安全衛生

歯科医師や歯科医師のために働いているものはB型肝炎の予防接種をし、定期的に抗体の有無を調べなくてはならない。雇用者は大抵スタッフの予防接種の費用を負担するが、現在、英国の多くの地域では地域保健当局の職業健康サービスにより無償でワクチン接種をすることができる。

1) 電離放射線

歯科診療は電離放射線規制2000に基づいて行われる。歯科医師とその他の歯科医療従事者は初期の訓練の一環で電離放射線について学ぶ。一度診療に出ると、5年ごとに行われる継続教育で知識を最新のものにしなければならぬ。この訓練を受けているものだけが歯科診療でレントゲンを撮ることができる。歯科医師はレントゲン写真の質について、定期的に監査を受けることが奨励されている。

診療所自体にも規則がある。装置はそれぞれの地域のルールに従い維持、使用されなければならない。遵守していることの証明を表示し、定期的な検査を受けなければいけない。

2) 有害廃棄物

診療で出た廃棄物は有害廃棄物とみなされ、2005年の有害廃棄物の規則（イングランドとウェールズ地方）に則り扱われる。同様の規則が、スコットランドと北アイルランド諸国も適用されている。診療の廃棄物は資格を得た回収業者によって、廃棄物の内容と適切な廃棄法を伴う適切な書類とともに取り扱われる。最終的に廃棄される前に、焼却や滅菌されるなどされる。

規則では、アマルガムも有害廃棄物に指定されており、下水道に廃棄してはならない。既存および新しい規則では、アマルガム分離機を設置し、アマルガムが規則に準じて集められ処理されなければならない。

安全衛生に関する規則	
------------	--

対象：	管理者
電離放射線	地方レベルでの健康安全局 (Health and Safety Executive at local level)
電気設備	地方レベルでの健康安全局
廃棄物処理	地方レベルでの健康安全局
医療機器	医療機器開発局
感染防御	地方保健当局

7. 経済的事項

1) 退職年金

NHS の下で働いている歯科医師は大抵の場合 NHS の老齢退職手当、退役年金手当の制度に加入している。歯科医師は診療支出を引いたあとの純所得の 5%～8.5%を支払い、毎年の経済状況により異なるが NHS は 14.2%を退職基金のために使う。支払い割合はインフレーションによって毎年見直される。40 年後、歯科医師は基金の 80 分の 1（もし現役歯科医師であるなら）を、病院や地域の雇われ歯科医師であれば最後の給与に基づき年金の支払いを受けられる。2010 年以降は 50 あるいは 55 歳から年金額は減るが、早期退職が可能である。大学職員は似ているが独立した年金がある。

NHS 以外で働いている歯科医師は自分の年金に対して自己責任があり、最終年金支払い額が積み立てられた金額で決まるという民間の年金に加入する。

通常の退職年齢は 65 歳であるが、NHS の開業医は 70 歳まで診療を続ける。アシスタント（あるいは performer）として NHS あるいは民間で働く歯科医師には、決まった退職年齢はない。

2) 税金

国民総所得税と地方自治体税がある。

(1) 所得税

基本税は収入の 20%であり、これは課税最低限度額約 7,000 ユーロを上回っている者に課せられる。さらに、収入が 60,000 ユーロを上回っている者には 40%が課せられる。国民保険への費用も発生する（60,000 ユーロの収入で 10%支払い、かつ全所得に対して 1%支払う）。

(2) 付加価値税（VAT）

付加価値税（VAT）は 17.5%であり、備品や道具、材料など全ての者に課せられるが、電力などの特定のものに対しては 5%とされている。

経済的な指標

チューリッヒを 100 としたときの ロンドンの値	London 2003	London 2008
物価（賃貸料を除く）	97.6	104.7
物価（賃貸料を含む）	111.4	123.0
賃金レベル（純）	63.9	78.4
国内購買力	63.6	63.7

(UBS

2003 年 8 月 2008 年 1 月)